

1 めざす学校像(基本理念)

- I 学校教育目標 豊かな心と意欲を持って未来を切り拓く生徒の育成
- II めざす学校像 ○「つながり」と「まなび」のある学校
○地域に開かれ信頼される学校

2 めざす生徒像

- 「認め合い、支え合い、学び合い、高め合う」生徒
- 主体的に学び続ける生徒
- 自分の考えを表現でき、他者の考えを受け止められる生徒
- 正しい判断力と規範意識を身につけ、仲間や地域とのつながりを大切にする生徒
- 心身ともに健康で、自分の夢の実現に向けて主体的に行動する生徒

3 めざす教職員像

- 主体的に自己研鑽に励む、学び続ける教職員
- 「互いに認め合い、支え合い、学び合い、高め合う」つながりを大切にする教職員
- 何事も誠実・迅速・丁寧・親身に対応し、生徒・保護者から信用・信頼される教職員
- 学校運営と小中連携への参画意識をもち、職務と校務分掌の遂行に努める教職員

4 現状と課題

生徒の自己肯定感は少しずつ高くなってきている。

(「自分に良いところがあると思うか」 R5 77.9%→R6 83.0%→R7 88.2%)

また、将来への展望を持つ割合が少しずつ高くなってきている。

(「将来の夢や目標を持っているか」 R5 64.0%→R6 66.7%→R7 67.6%)

非認知能力における「セルフコントロール(自制心)」「自己肯定感」に課題が見られる。

(「誘惑に負けない」R7 肯定的回答 50.4%、「先のことを考えて、計画的に行動する」58.8%、「わたしは今の自分に満足している」55.6%)

素直で真面目であるが、やや主体性に欠ける部分がある。

また、考えや思いの表現・伝達・相手の気持ちや状況の読み取りが苦手で、人間関係の不調も散見されるため、コミュニケーション力の伸長に取り組み、生徒相互の関わりや生徒と教師との信頼関係の強化を進めなければならない。

これらの課題を克服するために、学びの中で信頼のある「つながり」を育み、そのつながりをあらゆる学校活動に生かし広げる。生徒会活動等を中心とした生徒の主体的・創造的な行動や発想を引き出す活動を進め、その力を認め育むことが望まれる。

その実現のため、研修を充実させ、教職員の組織的指導体制や生徒指導・支

援方法等の改善を図ることとする。

5 学校経営基本方針（重点目標）

- (1) 安心して学べる集団づくり
- (2) 誰ひとり取り残さない授業づくり
- (3) 安全で安心な学びの場づくり
- (4) 義務教育学校設置を見据えた校区連携の体制づくり
- (5) 教職員の働きやすい職場環境づくり

6 行動計画

- (1) 安心して学べる集団づくり
安心感と信頼感のあるつながりを構築し、自他ともに敬愛し大切にする関係づくり。
 - 承認活動やなかまづくり、集団づくり活動の充実
 - ・ フレンドカード ・ リレーメッセージ ・ つづり作文
 - ・ 天栄アプリシエイターズ ・ クラスの中の自分
 - 一人ひとりに応じた支援体制の充実
 - ・ 特支 Co. を中心とした支援体制
 - ・ 生徒、保護者等への丁寧できめ細かな対応
 - 生徒指導や生徒支援のための組織体制強化
 - 生徒情報等、情報共有の徹底
 - レジリエンス（非認知能力）の育成
- (2) 学びの保障
「誰ひとり取り残さない授業づくり」の実現に向け、子どもを中心に据え、(授業者が)教科の本質を捉えた「主体的・対話的で深い学び」の実践を目指した授業改善への取り組み
 - 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善
 - 全国学力学習状況調査・みえスタの結果分析とその改善
 - 自己調整力の育成 ⇒ 「主体的に学び続ける生徒の育成」
 - 教員の授業マネジメント力およびファシリテーション力の向上
⇒ 「主体的に学び続ける教員の育成」
 - クラウド環境を活用した授業実践
 - ・ 主体的、対話的な校内研修の充実
 - ・ ミドルリーダーの活用と日常的な OJT の充実
 - 主体的に取り組む家庭学習の習慣化
 - 地域資源や地域人材を生かしたキャリア教育の実施
- (3) 安全で安心な学びの場づくり
 - 教職員の危機管理意識の向上
 - いのちを大切にする安全教育の充実
 - ・ 生徒が自分で判断する避難訓練の工夫
 - ・ 交通規則に則った自転車運転技術の向上
 - ・ 保護者・地域と連携した交通安全体制の充実
 - 施設設備の安全管理の徹底

<R8 年度取組>

①成果指標

- ・ 年 360 時間、月 45 時間を超える時間外労働者を 0 人
- ・ 1 人当たりの月平均時間外労働時間を 30 時間以下を目指す。
- ・ 1 人当たりの年平均休暇取得の目標日数 23 日を目指す。

②活動指標：

- ・ 時間外勤務前年比 10%減、休暇取得前年比 10%増
- ・ 設定した日の定時に退校できた職員の割合 100%
- ・ 部活動休養日を計画通り実施した割合 100%
- ・ 放課後に開催して 60 分以内に終了した会議の割合 100%